

シネマズライフ

2013年7月12日発行 第42号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音

【最近のこれはお見事！】

「太陽がいっぱい」

太陽は明るいように見えて、実は直視する事が出来ない...
映画を見ると、すくなく深い題名なんだなと思う。

【最近のこれはまずいぞ！】

「風と共に去りぬ」お話しはコメディらしい。畏れ多くもこの題名を付けるとは、自信があるのかなのか？

映画の風景 日本の風景

※ 佐賀県・見帰りの滝公園 ※



国民の不満を知りなが
らも、イギリス女王として
の「立場」も捨てる訳にもい
かず、女王は大いに悩む。

「ウィーン」が、世界的に人
気のあるダイアナの死
に対して『沈黙』を繰
ける「イギリス王室」
そしてエリザベス女王
に対して国民の不満が
噴出し始める...

その年の8月31日、チャールズ皇太
子の前夫人・ダイアナの事故死の連絡
が入る。しかし、ダイアナはイギリス
王室から出た人間。一個人の出
来事として「イギリス王室」
としては何も発表する事は
なかった。

「ウィーン」という映画があった。
こんな映画だ。
97年5月イギリス。従軍看護で労働党
が勝利し、トニー・ブレアが首相に就
任した。首相の一番の仕事は、イギリ
スの女王に承認を得る為のエリザベス
2世との謁見だった。しかし、それは
名ばかりで女王は承認を拒否する事は
できないのだ。
その年の8月31日、チャールズ皇太
子の前夫人・ダイアナの事故死の連絡
が入る。しかし、ダイアナはイギリス
王室から出た人間。一個人の出
来事として「イギリス王室」
としては何も発表する事は
なかった。

当時、女王は豊かな森もあるバルモ
ラル城で休暇を取っており、森に癒さ
れながら難しい選択をする。
日本にも、少なくなつたが森はまだ
残っている。今の日本人の心がギスギ
スする感じが多くなつてきているのはこ
うした心を癒してくれる場所が少なくな
つたからではないか。
少なくなつてきている「心を癒やす
日本の森」。まだまだ、日本人には必
要な場所だと思ふのだが。

『ウィーン』 2006年 イギリスフランスイタリア 監督：スティーブ・フリアーズ 主演：ヘレン・ミレン マイケル・シーン ジェームズ・クロムウェル

よく考えればエリザベス女王の「隠し」映画とも取れるが、エピソード一つがリアルで特長がある。女王であろうとなかろうと人間は誰でも怒るものなのだ。

コラム ツイッターは便利な グッズ？つと懸念件

それぞれの国でそれぞれの
「情報」の集め方がある。海外
から見れば日本は狭いとはい
えその伝達方法を作るのは簡
単な事ではない。
律令制の時代に唐の制度から
駅制が導入さ
れ、古代日本
の五畿七道の
駅路沿いに整
備された。当
初・これらの
使用は、当時
の権力者達の
中央と地方と
の連絡が主な
役目だった。
これらを利用
する「情報」
は「国」を治め
る為の重要なアイテムだったに
違いない。以降、形は変われど
日本を治めるには、「道」の整備
が「国」の最大課題となる。



東海道五十三次の47番目の宿場・関宿。

飛脚問屋が作られるようにな
り、庶民も「情報」を広める事
ができる時代になった。
そして、明治・大正・昭和と
急激な文化の発展と共に「電話」
「ラジオ」「テレビ」とアイテム
は変われど、もつと大量の「情
報」を庶民もたくさん共有伝
達できるようにな
る。

思えば、「テレ
ビ」が高価とは
いえ庶民でも見
れるようになって
きた時代。街頭に
ある「テレビ」の
前で「力道山の
試合」を近所の
人達とスリリン
グな試合を楽
しんだ時代まで
は「情報」を庶
民が得るには丁度よかつたのか
も知れない。
しかし、アメリカ大統領だつ
たケネディが、生中継で暗殺
された場面を世界中が見た頃
から、人間にとつての情報は多
くなりすぎたのではないか思
う。

以後、日本は紆余曲折があ
りながら「情報」を運ぶために
「道」作りに奔走する。
江戸時代には民営の飛脚屋・

以下次号。

on air!

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します!

『セックス・アンド・ザ・シティ』

ムービープラス
2008年 アメリカ
監督 脚本:マイケル・パトリック・キング
出演:サラ・ジェシカ・パーカー キム・キャトラル
クリスティン・デイヴィス シンシア・ニクソン

7月18日(木)10:45
7月24日(水)26:00 ⇒ 7月25日(木)2:00
7月29日(月)13:30

アメリカ・ニューヨーク。キャリアは長年の親友達に久々に再会した。ハリウッドスターの恋人の為にLA引越していたサマンサ・子育てに忙しいシャーロット・仕事と義母の世話に奮闘しているミランダ。それぞれの事情を抱えながらも充実した生活を送っていた。

実は、キャリアは長年のパートナーのビッグとの結婚を決意。みんなに祝福され、雑誌の取材など忙しい毎日を送る事に。そして、結婚式当日。ビッグのマリッジブルーが原因で事件が起こる…。

1998年から2004年まで、アメリカのケーブルテレビ局HBOでオンエアされ、世界的なブームを起こしたドラマの映画化。ドラマの影響は大きく特に世界中に『セックスもライフスタイル』の一つと実践するサマンサの痛快発言が評判を呼んだ。しかし、今回は恋愛至上主義に走り、新しいサマンサが見れます。もちろん他メンバーも転機の時なのです。

『ばいかじ南海作戦』

WOWOWシネマプライム

2012年 日本
監督 脚本:細川敬
原作:椎名誠
出演:阿部サダヲ 永山絢斗 貫地谷しほり 佐々木希

7月16(火)15:00【シネマ】
8月25(日)23:30【プライム】

リストラされ妻とも離婚した佐々木は突然、南の島に旅立ってしまう。たどり着いた所は、小さな島の海岸。そこには4人の先住者がおり、彼らの、のどかな生活に傷ついていた心は癒される。

島での生活のノウハウも教えてもらい、何事も順調だとおもいきや、なんと全財産を4人の先住者に盗まれて彼らはとんずら!佐々木は、無一文で海岸で暮らすハメに。しかし、しばらくして都会生活に疲れたオッコチと、関西からやってきたアバとキミの女子二人がやってきて、奇妙な共同生活を開始!ところがある日佐々木は、荷物を盗んだ連中を発見。『ばいかじ南海作戦』と名づけ荷物奪還を宣言するが…。

ポロポロのだった神経が、段々と癒されて行く過程が面白い。『奇跡のリンゴ』でもそうだが、ありえない設定でも妙にリアルに演じられる阿部サダヲは日本の貴重な俳優だと思う。また、いつも涼しげな風情の佐々木希が、見ているだけで意外と癒されてしまった。

☆今号は発行が遅れてしまい申し訳ありませんでした。次回発行予定は7月8日は第二・四金曜日です。次回発行は7月26日発行です。

☆読んで頂いてありがとうございます。よろしくお聞きください。感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします! 貴樹諒音

1978年 アメリカ イギリス 監督:フランク・J・シャフナー 「ブラジルから来た少年」 出演:グレゴリー・ベック

「65歳の公務員を、2年半の間、に殺す」という恐ろしい内容だったが、電話の向こうで男が殺され計画の全貌はわからない。電話の向こうの様子を聞いたリールマンは、事件を調べ始めやがて、確かに「65歳の公務員」が死亡する事件が起こり、その遺族の家を訪ねるとその家も母と少年が残されていた。そして、何件も訪ねたりベルマンは、恐ろしい事実気づく…。



オーストリアのウィーン。ナチスの残党を探す事に執念を燃やしているリールマンに南米パラグアイから電話がかかってきた。ある男から、ナチスドイツで恐ろしい実験を実行したメンゲレの屋敷で盗聴したテープを聞いてくれというのだ。そのテープには、

「あのヒットラーにはなる訳でもないが、こういう事を考えるのは「ナチス」らしいといえる。戦争とは、人間にとりて普通の状態ではない。荒唐無稽の発想だが、時代がこういう狂気の考えを持たせる事もあ

「再生」という話を聞いたが、この映画が作られた時でもありえる話だが、今となると現実味がある。しかし、ヒットラーのDNAを受け継いだからといって、

残虐な行為をしたナチスの生き残りには正し裁きを受けさせる事に執念を燃やす男と邪悪な妄想に憑りつかれた男の戦いを描く。ヒットラーのクローン赤ちゃんを生ませて、同じような環境を子供達に与えヒットラーを「再生」しようという話だったが、この映画が

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema TVMovie

シネマズライフ 42号

発行人: 貴樹諒音 発行日: 2013年7月12日
cinemaz-life@movie.nifty.jp 告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



【編集後記】
☆いきなり梅雨が終わり、突然の猛暑が春も短く、もはや日本の四季はどこの国かと思ってしまう。21日選挙がある。どこにいつか日本は折るべきだろうか? 日本は折るべきだ。皆様お

シネマズライフ-cinemaz-life-4 2号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《ムービープラス》

『セックス・アンド・ザ・シティ』

《WOWOWシネマ・プライム》

『ぱいかじ南海作戦』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&
お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(_)_m ダウンロードで鑑賞できます。 m(_)_m

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§§

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.